

# FD研修会を開催

金沢高専FD研修会が合同講義室で8月5日(金)午後4時30分から実施された。今回の研修は次の2つのプログラムで構成された。

①2018年度開設予定の白山キャンパスにおける新カリキュラムについて

②金沢高専「総合及び授業アンケート」調査結果について

まず始めに2018年度開始予定の新カリキュラムについて、ルイス・パークスデール校長が構想しているKTCの教育ミッション、学生が身に付けるべくKTCコンピテンシー等の案を教職員と共有した。今後は、科目概要や学習支援計画書を作成する上で、これらのミッションやコンピテンシーの関わりを考慮し具体案を検討、考案していくことが強調された。

続いて、学生に対して昨年度末に実施したアンケート調査の結果について、(有)アイ・ポイント池田晋代表が報告した。結果の主な特徴としては、KTCに対する総合的な満足度は「そう思う」「まあそう思う」が合計で69.1%という回答が得られ、過去最高の満足度となった。これは、これまでの継続的な点検評価と改善の取り組みが形になってきている成果ともいえる。しかし、1年次の満足度の高さに比べ、高学年になると満足度が低くなる傾向にある点の指摘を受けた。また「目的・目標」の意識も高学年で低くなる傾向もあることから、今後の対策が必要とされる。

今回は速報版として、企業アンケートの結果も報告さ

れた。ここでは主に企業が新入社員に求める能力、金沢高専の卒業生の能力、新しい金沢高専の取り組みに対する意見が共有された。

今回のFD研修会では、これまでの取り組みに対して振り返るだけでなく、グローバル人材やイノベーション人材といったキーワードから導き出される能力・資質等も共有された。今回の研修をもとに、今後社会で求められるのであろう人物像を捉えながら、新しい金沢高専における教育実践の具体化を図ることが望まれる。



FD 研修調査結果を報告する池田氏